



2月 えんだより

今年(2024年・令和6年)は、4年に1度の「うるう年」にあたります。暦と実際の太陽の動きの差を調整するために、2月29日が追加される特別な年です。せっかくなので、子どもたちにも、“おまけの日”がある理由を分かりやすく伝えていければと考えています。

どうして節分は2月3日なの？

節分という言葉には、「季節を分ける」という意味があるそうです。

昔の日本では、春は一年のはじまりとされ、特に大切にされていました。

そのため、春が始まる前の日、つまり冬と春を分ける日だけを節分と呼ぶようになったそうです。

◎ちなみに暦の上で春が始まる日を「立春(りっしゅん)」(2月4日ごろ)と呼びます。

※暦…時間の流れを年や日付に当てはめたカレンダーのようなもの。

【2024年の今年は、うるう年(2月29日まである年)です！】

2月は28日までですが、4年に一度だけ「29日」まである日があります。その「29日」まである年のことを閏年(うるうどし)または(じゅねん)というそうです。

なぜ、うるう年があるの？

地球は、太陽の周りを365日かけてまわっています(365日=1年)。

でも、4年の間に、1日分だけズレが起こってしまうそうです！！

そのために、4年に1度、2月の日数を1日多くして29日にしたのだそうです

2月のうた

♪ 鬼のパンツ

♪ ごんべさんの赤ちゃん

♪ うれしいひなまつり

2月の予定

- 1日(木) 身体測定
- 2日(金) 節分
- 7日(水) 歯科検診
(9:30 開始)

※歯科検診はお時間までの登園にご協力お願い致します。

- 14(水) 避難訓練